

## IFBLS 代表者会議<カナダ>報告



9月28日～30日、カナダのトロントにおいて、IFBLSの代表者会議が開催された。28日は希望者のみであるが Toronto Eaton Center, Mt. Sinai Hospital, The Hospital for Sick Children 等を訪問し、カナダの検査室の見学が行われた。

29・30日は代表者会議が Four points Sheraton Hotel で開かれた。加盟国 27カ国のうち、13カ国(日本、台湾、韓国、インド、チリ、アメリカ、カナダ、アイスランド、ノルウェー、スウェーデン、クロアチア、ドイツ、アイスランド)の代表者が集合した。

日本からは小崎繁昭会長、前川芳明常務理事と小松京子 IFBLS 理事の 3名が出席した。29日、IFBLS の会長となったノルウェーの Gry Andersen が開催を宣言し、IFBLS の現在の Board member の承認が最初の議題として出された。

続いて Past President Lena Morgan による今年度の予算・決算および WHO との連携、Vincent Gallichio による CLSI との連携、小松京子による Expert Group の進行状況、Berberi Astorga による南米諸国の加盟状況、Tom stow による Award Committee の状況などが報告された。

質疑応答後、インド、ニューデリーにおいて 2008 年 8 月 24-28 日に開催される第 28 回 IFBLS 学会の計画が発表された。日本を含むパネルディスカッションのプログラムもあり、

Second Announcement に向けての Web のための活発な意見が寄せられた。代表者発言では、各国の代表者が検査技師の現状および問題点について発表した。

現在多くの国は、臨床検査技師教育制度の 2 年制,3 年制,4 年制が混在しており、また社会的認知度は十分とはいえないという問題が共有されていると感じられた。

30日は各委員会のグループ討論が行われた。筆者(小松)は Expert Group のグループ討論の議長として参加した。Expert Group は世界各国の専門領域ごとの情報交換を目的としており、自国の技師会からの推薦を条件としている。既に人数が多少揃っている“Education グループ”に関しては活動を開始することと、情報交換を行うにはまだエキスパートが揃っていない分野に関してはさらにメンバーを募集することとなった。

女性フォーラムにおいて調査した際に、男女平等・女性差別撤廃の度合いはノルウェー、スウェーデンが最も進んでいるというデータを得た。今回の会議においても北欧の代表者は女性が殆どであったことが個人的には興味深かった。また、JAMT が行っている BLS day の活動や 8 地区ジョイントフォーラムでの検査技師の宣伝活動はきわめて好評であった。読者の皆様には、ポスターなどの資料に御注目くださり、その中に IFBLS の宣伝も組み込まれていることに気がついてくだされば幸いである。

インドにおける IFBLS 学会の事前登録は既に開始されており、国際学会の成功が IFBLS の発展に寄与することは明白である。JAMT 会員の皆様のご協力を御願ひする次第である。【小松京子】



## お知らせ

### 第3回 JAMT-JIMTEF 国際セミナー

昨年予定されていた同セミナーは“タイ国の世情不安”による外務省からの通達により中止され、第 56 回医学検査学会開催に joint するかたちで、宮崎シーガイアで開催された。

さて、第 3 回の同セミナーに向けては、平成 20 年 3 月にタイ国にて開催するべく、現在現地と調整中である。

テーマは昨年度予定されていた“結核”をはじめ“鳥インフルエンザ”を用意し、タイ国と調整中である。詳細は、決まり次第“会報 JAMT”やホームページにて広報することとしているので、お待ちいただきたい。

### 日韓代表者会議開催される・・・

10月26日～27日に韓国全州市において、大韓臨床病理士協会学術大会が開催された。

それに先立ち開催された日韓代表者会議には、小沼利光副会長<派遣団長>をはじめ今村文章、日野浦雄之の両氏が参加した。

また、今回、日韓協定に基づく“交流功労者表彰”を受賞した元当会副会長の浅井正樹氏が参加した。

今回の代表者会議では、明年5月札幌市で開催される第 57 回医学検査学会にて行われる“日韓協定締結 30 周年記念行事”に関連する議題が中心となった。

その結果、日韓協定締結以来 30 年にわたり尽力され協定を締結された両国会長並びに現交流功労者会長の表彰をはじめ、記念“日韓 Forum”の開催などで合意をみた。